

第 1 事業報告書

平成 22 年度財団法人広島市農林水産振興センター事業報告書
(平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで)

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

広島市における農山漁村地域の農林水産業等の活性化及びその振興を図るとともに、農山漁村地域の持つ公益的機能を活用した事業を推進し、もって高い発展性と社会貢献性を持つ農山漁村地域の確立と市民福祉の増進に寄与することを目的とする。

(2) 概況

ア 設立年月日

平成 4 年 4 月 1 日 財団法人広島市農業振興センターとして設立
平成 10 年 4 月 1 日 財団法人広島市林業振興公社と統合
平成 17 年 4 月 1 日 財団法人広島市水産振興協会と統合

イ 基本財産

設立当初、基本財産は、5,000 万円（全額広島市出資）であったが、平成 10 年 4 月 1 日財団法人広島市林業振興公社との統合に伴い、同財団から 3,000 万円を寄附受領した。また、平成 17 年 4 月 1 日財団法人広島市水産振興協会との統合に伴い、広島市から 1,000 万円の追加出資があったことにより、現在の基本財産は、9,000 万円（うち広島市出資 6,000 万円）である。

ウ 実施事業

- (ア) 農林水産業の振興に関する指導及び普及啓発
- (イ) 水源涵養や緑地保全等公益的機能の活用に関する指導及び普及啓発
- (ウ) 農山漁村地域の担い手の育成及び指導
- (エ) 農地保有の合理化等に関する事業
- (オ) 水産資源の維持増殖に必要な重要魚介類等の種苗生産
- (カ) 広島市の委託を受けて行う農林水産業振興施設等の管理運営事業及びこれらに付随する事業
- (キ) その他設立目的を達成するために必要な事業

2 役員等の状況

(1) 役員等の数

理事長	1 人
常務理事	1 人
理事	9 人
監事	2 人
評議員	18 人

(2) 理事・監事

ア 事業年度中の理事・監事の異動は、次のとおりである。

異動年月日	役職	氏名	異動内容
平成22年4月1日	理事長	戸田均史	重任
平成22年4月1日	常務理事	亀井且博	重任
平成22年4月1日	理事	浅枝俊治	重任
平成22年4月1日	理事	飯山郁子	重任
平成22年4月1日	理事	伊東祐保	就任
平成22年4月1日	理事	栗栖昭	就任
平成22年4月1日	理事	後藤慎太郎	重任
平成22年4月1日	理事	中川和義	重任
平成22年4月1日	理事	延原道雄	重任
平成22年4月1日	理事	持田紀治	重任
平成22年4月1日	理事	山本雅子	重任
平成22年4月1日	監事	井手下文子	就任
平成22年4月1日	監事	松若仁志夫	就任
平成22年5月31日	理事	延原道雄	辞任
平成22年6月1日	理事	河野芳徳	就任
平成23年3月31日	常務理事	亀井且博	辞任

イ 平成23年3月31日現在の理事・監事は、次のとおりである。

役職	氏名	就任年月日
理事長	戸田均史	平成20年4月1日
常務理事	亀井且博	平成21年4月1日
理事	浅枝俊治	平成21年6月17日
理事	飯山郁子	平成10年4月1日
理事	伊東祐保	平成22年4月1日
理事	栗栖昭	平成22年4月1日
理事	河野芳徳	平成22年6月1日
理事	後藤慎太郎	平成18年6月30日
理事	中川和義	平成16年4月1日
理事	持田紀治	平成4年4月1日
理事	山本雅子	平成10年4月1日
監事	井手下文子	平成22年4月1日
監事	松若仁志夫	平成22年4月1日

(3) 評議員

ア 事業年度中の評議員の異動は、次のとおりである。

異 動 年 月 日	役 職	氏 名	異 動 内 容
平成22年4月 1日	評 議 員	池 田 仁	就 任
平成22年4月 1日	評 議 員	甲 斐 智 子	就 任
平成22年4月 1日	評 議 員	岸 本 勇 示	就 任
平成22年4月 1日	評 議 員	吉 川 清 二	重 任
平成22年4月 1日	評 議 員	木 村 佐 代 子	就 任
平成22年4月 1日	評 議 員	倉 本 守	重 任
平成22年4月 1日	評 議 員	下 谷 邦 代	重 任
平成22年4月 1日	評 議 員	島 本 啓 司	重 任
平成22年4月 1日	評 議 員	須 田 泰 夫	就 任
平成22年4月 1日	評 議 員	中 川 平 介	重 任
平成22年4月 1日	評 議 員	橋 本 敏 信	就 任
平成22年4月 1日	評 議 員	福 田 五 郎	重 任
平成22年4月 1日	評 議 員	藤 本 秀 人	重 任
平成22年4月 1日	評 議 員	堀 内 俊 孝	重 任
平成22年4月 1日	評 議 員	益 淵 正 典	重 任
平成22年4月 1日	評 議 員	向 井 田 輝 紀	就 任
平成22年4月 1日	評 議 員	安 田 政 男	就 任
平成22年4月 1日	評 議 員	吉 村 淳	重 任

イ 平成23年3月31日現在の評議員は、次のとおりである。

役 職	氏 名	就 任 年 月 日
評 議 員	池 田 仁	平成22年 4月 1日
評 議 員	甲 斐 智 子	平成22年 4月 1日
評 議 員	岸 本 勇 示	平成22年 4月 1日
評 議 員	吉 川 清 二	平成19年 4月 1日
評 議 員	木 村 佐 代 子	平成22年 4月 1日
評 議 員	倉 本 守	平成16年 4月 1日
評 議 員	下 谷 邦 代	平成10年 4月 1日
評 議 員	島 本 啓 司	平成10年 4月 1日
評 議 員	須 田 泰 夫	平成22年 4月 1日
評 議 員	中 川 平 介	平成18年 4月 1日
評 議 員	橋 本 敏 信	平成22年 4月 1日

役 職	氏 名	就 任 年 月 日
評 議 員	福 田 五 郎	平成15年 4月 1日
評 議 員	藤 本 秀 人	平成21年 6月16日
評 議 員	堀 内 俊 孝	平成 8年10月 1日
評 議 員	益 淵 正 典	平成 8年10月 1日
評 議 員	向 井 田 輝 紀	平成22年 4月 1日
評 議 員	安 田 政 男	平成22年 4月 1日
評 議 員	吉 村 淳	平成19年 4月 1日

3 理事会等の開催

(1) 理事会

開催年月日	開催回数	付 議 事 項	審議結果
平成22年4月1日 (書面表決)	平成22年 第2回	評議員の委嘱の承認について	承認
平成22年5月27日	平成22年 第3回	平成21年度財団法人広島市農林水産振興センター事業報告及び決算報告について	承認
		平成22年度財団法人広島市農林水産振興センター事業計画変更及び収入支出補正予算(第1号)	原案可決
		平成21年度における職員の職務に係る倫理の保持に関する状況等の報告について「報告」	終了
平成22年9月10日 (書面表決)	平成22年 第4回	財団法人広島市農林水産振興センターと財団法人広島市産業振興センターとの合併について	承認
平成23年1月4日 (書面表決)	平成23年 第1回	平成22年度財団法人広島市農林水産振興センター補正予算(第2号)	原案可決
平成23年3月25日	平成23年 第2回	平成23年度財団法人広島市農林水産振興センター事業計画及び収支予算について	原案可決
		公益財団法人への移行に関する決定について	原案可決
		最初の評議員の選任方法及び選定委員会に関する規則の制定について	原案可決
		最初の評議員選定委員会委員の予定者選任について	選任
		最初の評議員候補者の推薦について	承認

(2) 評議員会

開催年月日	開催回数	付 議 事 項	審議結果
平成22年5月26日	平成22年第2回	平成21年度財団法人広島市農林水産振興センター事業報告及び決算報告について	承認
		平成22年度財団法人広島市農林水産振興センター事業計画変更及び収入支出補正予算（第1号）	承認
		平成21年度における職員の職務に係る倫理の保持に関する状況等の報告について「報告」	終了
平成22年9月10日 （書面表決）	平成22年第3回	財団法人広島市農林水産振興センターと財団法人広島市産業振興センターとの合併について	承認
平成23年1月4日 （書面表決）	平成23年第1回	平成22年度財団法人広島市農林水産振興センター補正予算（第2号）	承認
平成23年3月25日	平成23年第2回	平成23年度財団法人広島市農林水産振興センター事業計画及び収支予算について	承認
		公益財団法人への移行に関する決定について	承認
		最初の評議員の選任方法及び選定委員会に関する規則の制定について	承認
		最初の評議員選定委員会委員の予定者選任について	承認
		最初の評議員候補者の推薦について	承認

4 寄附行為の変更

事業年度中の寄附行為の変更はなし。

5 職員の状況

平成23年3月31日現在の職員の状況は、次のとおりである。（単位：人）

区 分	事務職員					小計	技術職員					小計	業務員	嘱託	合計	
	部長級	課長級	補佐級	係長級	主事		部長級	課長級	補佐級	係長級	技師					
農林部	調整課				2	4	6	1	1				2		3	11
	農業振興課								1	4		6	11		1	12
	農林体験推進課								1	4	1	1	7		1	8
水産部	普及指導課					1	1	1			3		4		2	7
	栽培漁業課								1			3	4	2	2	8
合 計				2	5	7	2	4	8	4	10	28	2	9	46	

6 事業の実施状況等

(1) 事業の実施状況

次の事業を実施した。

ア 公益事業

12,667,069円

次のとおり公益事業を実施した。

(ア) 農林水産業の振興に関する普及啓発

352,650円

区 分	事 業 内 容 等	決算額
「ひろしま農林水産振興ニュース」の発行	農林漁業者や市民に対し、本財団の業務紹介等を行い、財団事業の理解促進や普及啓発を行った。 年2回 各13,000部配布・ホームページに掲載 7月(第35号)第2の人生農業でがんばります ほか 3月(第36号)広島市の農林水産業を応援する市民ボランティアを育成中 ほか	千円 353

(イ) 農業後継者の育成指導等

166,000円

区 分	事 業 内 容 等	決算額
広島市農業経営改善支援センターの運営	「認定農業者」制度を推進し、農業後継者に対し経営改善支援や情報収集・提供活動をするなどの相談支援を行った。 a 認定者数(経営改善計画作成数) 23人 (新規9人、再認定14人) ・平成23年3月末 認定農業者実数 104人 b 説明会及び窓口相談 46人 (経営改善計画作成支援等) c 経営改善支援活動(合同研修会等) 26人 家族経営協定締結数 6組 d 情報収集提供活動等 e 農業経営改善フォローアップ活動	千円 166

(ウ) “ひろしま活力農業” 経営者育成

6,297,000円

区 分	事 業 内 容 等	決算額
“ひろしま活力農業” 経営者育成	若い農業経営者を育成するため、研修を行うとともに農地の利用集積などを行った。 a 募集・選考(14期生) (a) 問い合わせ就農相談対応 15件 (b) 応募者 12人 (c) 研修生決定 2人	千円 6,297

(オ) 森林の育成及び自然保護に関する普及啓発

627,000円

区 分	事 業 内 容 等	決算額
市民参加の森林づくり	<p>市民が森林づくり運動に自発的に参加するような動機付 けと、それぞれの立場で参加できる機会を提供した。</p> <p>a 「もりメイト」育成 森林に関する知識や林業技術習得のための講習会を開 催し、市民参加の森林づくりの先導的役割を果たすボラ ンティアを育成した。 下刈り、間伐、植林、枝打ち講座等7回 認定26人</p> <p>b みどりの里親制度 子どもたちの森林への親近感を醸成するため、子ど もたちが苗木の「里親」として、苗木を家庭で育成し、 再び山に戻すまでの一連の作業をサポートした。 (a) 里親登録（ドングリの種子の植え付け指導） 11月3日 森林公園 254人 (b) 植樹（2年間家庭で育てた苗木の植樹） 11月28日 森林公園 151人</p> <p>c みんなで使おう間伐材 森林づくりや、資源の大切さについて認識を深めるた め、市民自らが、間伐材でテーブルを作製し、間伐材の 有効利用の必要性を学んだ。 6月6日 森林公園 23組</p> <p>d 森の訪問者活動支援 森林整備活動を支援するため、必要とするナタ等の道 具や安全具を貸出した。 貸出回数 21回 12団体</p> <p>e ひろしま「森の市」開催 森林・林業への理解を深めるため、森林ボランテ ィア団体等が製作した木製品等の展示・即売イベントを 実施した。 11月3日 森林公園 3,647人 参加団体 14団体</p> <p>f 「四季・彩りの森」 森づくりに親しみを持ち、地域の里山林における森 づくり活動のきっかけとするため、市民がヤマザクラ、 シバグリ等の植樹や手入れを体験した。 11月14日 森林公園 47組</p> <p>g みどりの少年団育成 森林などに生息する植物、動物についての観察、体験 学習を行った。 (a) 登録 62人（小学校4～6年生） (b) 活動 植物観察等 10回（雨天等により2回中止） 延べ参加人数 472人（団員・OB）</p>	千円 627

イ 受託事業

131,964,038円

広島市から受託した次の事業を実施した。

(7) 担い手育成と地産地消の推進等

9,987,181円

区 分	事 業 内 容 等	決算額
ふるさと帰農支援	<p>定年帰農希望者に野菜の施肥方法や病虫害防除に関する講義、耕運機や播種機の使い方実習及び先進農家や市場視察などを行った。</p> <p>a 募集・選考（6期生）</p> <p>(a) 応募 13人</p> <p>(b) 選考 12人</p> <p>b 研修</p> <p>講義・実習及び先進農家視察等</p> <p>(a) 5期生Aコース 4人 32回</p> <p>(b) 5期生Bコース 9人 65回</p>	千円 202
“まかせんさい” 広島市女性農業士 認定	<p>広島市が認定する女性農業士の研修を行った。</p> <p>a 研修会 5回</p> <p>8期生3人（1年目研修）</p> <p>(a) 市内農業視察（佐伯区、西区、安佐南区、安芸区）</p> <p>(b) 「女性農業士の心得について」 （1～7期先輩女性農業士）</p> <p>(c) 「表現力の向上について」 （大崎恵美子氏：話し方研究家）</p> <p>(d) 「女性の視点を生かした地域づくり」 （辰巳佳寿子氏：山口大学エクステンションセンター准教授）</p> <p>(e) 「農業体験と消費者交流について」 （湯来農村環境改善交流センター）</p> <p>b 先進地調査 1回 神石高原町農業委員会</p> <p>c 情報誌発行 1回 「広島市女性農業士だより」 女性農業士及び関係機関へ配布（60部）</p>	千円 159
“チャレンジ” 女性農業者支援	<p>生産から農産加工、販売までの知識を生かした経営力のあ る女性農業者を育成するための研修を行った。</p> <p>a 募集・選考（1期生）</p> <p>(a) 応募 9人</p> <p>(b) 選考 6人</p> <p>b 募集・選考（2期生）</p> <p>(a) 応募 8人</p> <p>(b) 選考 7人</p> <p>c 研修（1期生）</p> <p>講義・実習及び先進農家視察等 55回</p>	千円 215

区 分	事 業 内 容 等	決算額																														
家畜診療・畜産 振興	<p>疾病の発生予防と早期発見に努め適切な診療により農家経営の安定を図った。</p> <p>家畜診療</p> <table border="1" data-bbox="539 309 1289 432"> <thead> <tr> <th></th> <th>繁殖障害 除去</th> <th>無血去勢 ・除角</th> <th>人工授精</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>916</td> <td>63</td> <td>263</td> <td>1,242</td> </tr> </tbody> </table> <p>畜産農家への巡回指導を行い生産意欲の向上と飼養技術の向上により農家経営の安定を図った。</p> <p>畜産振興</p> <table border="1" data-bbox="539 566 1289 1227"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>戸数</th> <th>件数</th> <th>指導内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳用牛 振興</td> <td>13</td> <td>810</td> <td>①飼養管理技術指導 ②良質堆肥作成のための情報提供 ③後継牛育成指導 ④酪農組織の育成等 ⑤経営診断 ⑥環境対策指導</td> </tr> <tr> <td>和牛 振興</td> <td>28</td> <td>310</td> <td>①改良増殖指導 ②耕作放棄地への和牛放牧普及啓発 ③後継牛育成指導 ④飼養管理技術指導 ⑤飼養農家組織の育成 ⑥経営診断</td> </tr> <tr> <td>中小家畜 振興</td> <td>10</td> <td>26</td> <td>①糞尿処理の適正化と環境対策指導 ②家畜伝染病予防対策</td> </tr> <tr> <td>伝染病 予防</td> <td>95</td> <td>118</td> <td>口蹄疫・高病原性鳥インフルエンザ[*] 発生予防のための巡回指導</td> </tr> </tbody> </table>		繁殖障害 除去	無血去勢 ・除角	人工授精	合計	件数	916	63	263	1,242	区分	戸数	件数	指導内容	乳用牛 振興	13	810	①飼養管理技術指導 ②良質堆肥作成のための情報提供 ③後継牛育成指導 ④酪農組織の育成等 ⑤経営診断 ⑥環境対策指導	和牛 振興	28	310	①改良増殖指導 ②耕作放棄地への和牛放牧普及啓発 ③後継牛育成指導 ④飼養管理技術指導 ⑤飼養農家組織の育成 ⑥経営診断	中小家畜 振興	10	26	①糞尿処理の適正化と環境対策指導 ②家畜伝染病予防対策	伝染病 予防	95	118	口蹄疫・高病原性鳥インフルエンザ [*] 発生予防のための巡回指導	千円 5,063
	繁殖障害 除去	無血去勢 ・除角	人工授精	合計																												
件数	916	63	263	1,242																												
区分	戸数	件数	指導内容																													
乳用牛 振興	13	810	①飼養管理技術指導 ②良質堆肥作成のための情報提供 ③後継牛育成指導 ④酪農組織の育成等 ⑤経営診断 ⑥環境対策指導																													
和牛 振興	28	310	①改良増殖指導 ②耕作放棄地への和牛放牧普及啓発 ③後継牛育成指導 ④飼養管理技術指導 ⑤飼養農家組織の育成 ⑥経営診断																													
中小家畜 振興	10	26	①糞尿処理の適正化と環境対策指導 ②家畜伝染病予防対策																													
伝染病 予防	95	118	口蹄疫・高病原性鳥インフルエンザ [*] 発生予防のための巡回指導																													
“ひろしまそだち” 地産地消推進 食農推進	<p>“ひろしまそだち”の普及啓発を行い、地産地消を推進した。</p> <p>a “ひろしまそだち”地産地消推進</p> <p>(a) “ひろしまそだち”地産地消推進協議会の開催 1回</p> <p>(b) “ひろしまそだち”製品PR</p> <p>① “ひろしまそだち”だより17号 協議会員、市民団体等へ配布(3,000部発行)</p> <p>②インターネット(ホームページ)による情報発信</p> <p>③エプロン等PRグッズの作成</p> <p>(c) 公民館料理教室で製品PR 直売所などの生産者グループが料理教室で行う製品PRを支援した。 安公民館、吉見園公民館、中野公民館など8館 延べ117人</p>	千円 3,164																														

区 分	事 業 内 容 等	決算額
<p>“ひろしまそだち” 地産地消推進 食農推進</p>	<p>(d) “ひろしまそだち” 野菜アドバイザー育成研修 料理教室などで市民へ“ひろしまそだち” 産品の 情報などを伝える野菜アドバイザーの研修を行った。 ① 募集・選考（3期生） (1) 応募 17人 (2) 選考 13人 ② 研修 こまつなの収穫体験と鮮度比較など 10回</p> <p>(e) “ひろしまそだち” 地産地消サポーター “ひろしまそだち” を通じた地産地消の推 進に賛同する市民に情報提供を行った。 登録 249人（新規128人）</p> <p>b 食農推進</p> <p>(a) 産地交流会の実施 3回 市民が生産現場で収穫体験・試食を行った。 1月 こまつな（安佐北区白木町） 14人 2月 しゅんぎく（安佐南区中筋） 14人 2月 こんにゃく（佐伯区湯来町） 26人</p> <p>(b) 食農コーディネーター育成研修 食農体験行事等を企画実施する市民ボランティア の研修を行った。 ① 募集・選考（4期生） (1) 応募 15人 (2) 選考 5人 ② 研修 稲作体験や食農イベント視察など 24回</p> <p>c ひろしまフードフェスティバルでのPR 10月に中央公園などで特産品を試食、販売し、“ひ ろしまそだち” PRを行った。（来場者数74万人）</p>	<p>—</p>
<p>広島市市民菜園 開園推進</p>	<p>市民菜園を新規開園するため、パンフレット配布な どの普及啓発を行った。 平成23年度開園数 6カ所 366区画</p>	<p>千円 232</p>
<p>広島市市民体験 農園開園推進</p>	<p>市民が指導を受けながら農作業ができる体験農園を 新規開園するため、地権者への普及啓発や管理指導者 の募集・選考及び研修を行った。</p> <p>a 募集・選考（2期生） (a) 応募 3人 (b) 選考 1人</p> <p>b 研修（2期生1人） 講義及び実習</p> <p>c 募集・選考（3期生） (a) 応募 7人 (b) 選考 6人</p>	<p>千円 39</p>

区 分	事 業 内 容 等	決算額
ふるさと農村活性化支援	都市農村交流イベントの企画運営支援等を行う市民ボランティアの研修を行った。 研修（2期生5人 2年目研修） 湯来現地研修など 7回	千円 37
安佐・市民の森創生 ※「ひろしま市民の里@安佐」へ改称	「食」と「農」や自然環境保全の大切さへの理解を深めるため、市民と共に農地の開墾、土壌改良、作付け、収穫等を行った。 開墾農地 10アール 作付品目 ダイズ、サツマイモ、ソバ、コムギ 食農体験 そばの栽培からそば打ちまで 活動日数 135日 延べ活動人数 1,258人	千円 877

(イ) 広島市農業振興センター管理運営（指定管理業務）56,137,847円

区 分	事 業 内 容 等	決算額
花みどり公園普及啓発	花みどり公園内の花木等を利用して、花や緑への興味や知識を深める講習会等を開催した。 a シャクナゲふれあい祭りの開催 (a) シャクナゲ展 12日間 (b) 花みどり88種めぐり（園内案内） (c) 花苗の無料配布 500鉢 b みどりづくり・はなづくり・シャクナゲ講座の開催 コケ玉づくり（6回）、ガーデニング（2回）、庭木の管理等（6回）、シャクナゲ（4回） 18回 延べ380人 c 食農体験教室の開催 ブルーベリージャム、マーマレード、味噌と米粉ロールケーキ、豆腐作り、しめ縄作りなど 8回 延べ246人 d 花みどり公園ファンクラブの活動 植替え・除草や剪定などの園内管理ほか 106回 延べ1,298人	千円 299
「スローライフで夢づくり」定年就農者育成	定年就農希望者に研修及び農地の斡旋を行い、これまで育成した就農者への支援を行った。 a 募集・選考（7期生） (a) 応募 10人 (b) 選考 8人 b 研修（6期生9人） 講義及び実習 135日 c 農地の斡旋（6期生）8人（1人辞退） 11,326㎡ d 就農後の活動支援（1～5期生 37人）	千円 387

区 分	事 業 内 容 等	決算額																																													
農業に関する 試験研究	<p>広島市農業振興センターにおいて、野菜・花き等の栽培試験及び普及啓発を行った。</p> <p>a 軟弱野菜の栽培試験 こまつな、葉ねぎ等 4件</p> <p>b 特長ある農産物の開発普及 (a) 野菜・花きの栽培展示、新規品目の開発 5件 (b) 講習会等 5回</p> <p>c 環境にやさしい農業の推進 土壌分析 1, 550件 (土ドック765件、一般分析785件)</p> <p>d 野菜や花き等の優良種苗の生産等 (a) 効率的な生産技術の普及啓発 水耕栽培等（ブドウ、いちご） 2件 (b) バイオ技術導入による優良種苗の開発・普及 苗の普及（フキ、サツマイモ） 5, 280株</p>	千円 12,864																																													
家畜の改良、増殖	<p>乳用牛・和牛の生産振興、産地育成のため受精卵移植技術の実用化を行い農家経営の安定を図った。</p> <p>a 採卵</p> <table border="1" data-bbox="529 1115 1082 1301"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>採卵回数</th> <th>採卵個数</th> <th>正常卵数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳用牛</td> <td>6回</td> <td>31個</td> <td>6個</td> </tr> <tr> <td>和 牛</td> <td>23</td> <td>144</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>29</td> <td>175</td> <td>87</td> </tr> </tbody> </table> <p>b 移植（3月末現在）</p> <table border="1" data-bbox="529 1346 1294 1626"> <thead> <tr> <th>供卵牛</th> <th>受卵牛</th> <th>移植 件数(A)</th> <th>受胎未確 認件数(B)</th> <th>受胎 件数(C)</th> <th>受胎率 C/(A-B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳用牛</td> <td>乳用牛</td> <td>2件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">和 牛</td> <td>乳用牛</td> <td>71</td> <td>20</td> <td>23</td> <td>45.1</td> </tr> <tr> <td>和 牛</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>33.3</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>81</td> <td>22</td> <td>25</td> <td>42.4</td> </tr> </tbody> </table>	区分	採卵回数	採卵個数	正常卵数	乳用牛	6回	31個	6個	和 牛	23	144	81	計	29	175	87	供卵牛	受卵牛	移植 件数(A)	受胎未確 認件数(B)	受胎 件数(C)	受胎率 C/(A-B)	乳用牛	乳用牛	2件	0件	0件	0%	和 牛	乳用牛	71	20	23	45.1	和 牛	8	2	2	33.3	合計		81	22	25	42.4	千円 1,587
区分	採卵回数	採卵個数	正常卵数																																												
乳用牛	6回	31個	6個																																												
和 牛	23	144	81																																												
計	29	175	87																																												
供卵牛	受卵牛	移植 件数(A)	受胎未確 認件数(B)	受胎 件数(C)	受胎率 C/(A-B)																																										
乳用牛	乳用牛	2件	0件	0件	0%																																										
和 牛	乳用牛	71	20	23	45.1																																										
	和 牛	8	2	2	33.3																																										
合計		81	22	25	42.4																																										
管理運営	<p>施設等を良好に保つため、保守点検、維持補修を実施した。</p> <p>a 広島市農業振興センター 敷地面積 16,147㎡ 事務所棟、試験ほ場、ガラス温室等 26棟</p> <p>b 花みどり公園（安佐分場） 敷地面積 92,503㎡ 管理棟、ガラス温室等 4棟</p>	千円 41,001																																													

(ウ) 広島市市民農園の管理運営 (指定管理業務)

10,665,520円

区 分	事 業 内 容 等	決算額
市民農園 管理運営	三田 a 管理運営検討会 (役員会) 4回 施設の管理及び集客・活性化企画運営の検討会等 b 地域活性化講習会ほか 6回 野菜栽培 (2回)、食の体験 (パンづくり、干し柿づくり)、文化伝承 (しめ縄作り)、収穫感謝祭 c 施設の維持管理 農園 5,500㎡ 112区画 管理棟 1棟	千円 10,666
	見張 a 管理運営検討会 (役員会) 12回 施設の管理、集客・活性化企画運営及び空き区画利用の検討会等 b 地域活性化講習会ほか 6回 野菜栽培 (2回)、食の体験 (豆腐作り)、文化伝承 (しめ縄作り)、親子ふれあい体験 (ダッチオーブン料理等) c 施設の維持管理 農園 8,650㎡ 178区画 管理棟 1棟	
	三国 a 管理運営検討会 (役員会) 1回 施設の管理、集客・活性化企画運営の検討会 b 地域活性化講習会ほか 5回 野菜栽培 (2回)、椅子作り講習会 (2回)、収穫祭 c 施設の維持管理 農園 2,500㎡ 102区画	

(エ) 里山再生・整備

250,338円

区 分	事 業 内 容 等	決算額
里山整備士養成	広島市域の里山において、市民ボランティアと地域住民が協働で、再生・整備を行う際の指導役を担う「里山整備士」を養成した。 a 1年目基礎講座 (6期生5人) 植生や生態調査、測量や整備実習等 11回 b 2年目実践講座 (5期生4人) 里山の整備計画作成、モデル林整備 9回	千円 251

(オ) 太田川源流の森整備（広島市水道局からの受託事業） 11,248,848円

区 分	事 業 内 容 等	決算額
森林整備管理	<p>水源かん養機能が十分に発揮できるように、人工林は保育施業を行い、天然林については不良木等を整理した。</p> <p>下 刈 16.39 ha 間 伐 6.96 ha 除 伐 2.33 ha 枝 打 2.57 ha 整理伐 13.71 ha 計 41.96 ha</p>	千円 11,249
普及啓発	<p>水源かん養の重要性を広く啓発するため、市水道局が行う植樹活動等をサポートした。</p> <p>下 刈 2.34 ha</p>	

(カ) 広島市水産振興センターの管理運営（指定管理業務） 43,674,304円

区 分	事 業 内 容 等	決算額
漁業後継者の育成指導及び水産に関する知識の普及啓発	<p>漁業後継者の育成指導及び水産に関する知識の普及啓発を行った。</p> <p>a 後継者育成 漁業後継者育成のため、漁労漁業、カキ養殖業等に関する研修会を開催し、相談・支援を行った。 (a) カキ養殖技術研修会 5回 38人 (b) 栽培漁業研修会 12回 55人</p> <p>b 漁業フェスティバル（共催） 11月に漁業体験や魚食普及及び消費拡大のためのイベントを行い、市民へ幅広く漁業との触れ合いの場を提供した。（来場者数4,500人） (a) 漁業体験 一般公募（小学校3～6年生） ・カキ養殖漁場見学クルーズ 24組 48人 ・カキ打ち体験 12組 24人 ・刺網漁体験「網からの魚はずし」 13組 26人 自由参加 ・「魚と漁業の資料展示室」の開館 ・種苗生産施設（アユ稚魚）の公開 ・魚介類のタッチングプール</p>	千円 444

区 分	事 業 内 容 等	決算額																						
漁業後継者の育成 指導及び水産 に関する知識の普 及啓発	<p>(b) 試食、販売等(広島市漁業振興協議会実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒鯛刺身・味噌汁、カキ蒸し焼きの試食 ・魚のさばき方実演 ・カキ、活魚等の販売 <p>c 広島市水産まつり(協賛)</p> <p>2月に漁業団体が開催した「広島市水産まつり」に協賛し、「広島市の漁業」や「つくり育てる漁業」等への普及啓発を図った。(来場者数17,000人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「魚と漁業の資料展示室」の開館 ・種苗生産施設(マコガレイ稚魚)の公開(広島市漁業振興協議会実施分) ・「カキ打ち」「ノリすき」の体験 ・黒鯛刺身・味噌汁、大河鍋等の試食 ・カキ、活魚等の販売 <p>d 海辺の教室</p> <p>魚や漁業に関する知識の普及啓発を図る学習会を開催した。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>4月(育てる漁業)</td> <td>10月(魚の年齢)</td> </tr> <tr> <td>5月(チリメンモンスター)</td> <td>11月(刺し網等)</td> </tr> <tr> <td>6月(シジミ漁業)</td> <td>12月(カキ養殖)</td> </tr> <tr> <td>7月(海の珍味を食べよう)</td> <td>1月(カキ養殖)</td> </tr> <tr> <td>8月(プランクトン)</td> <td>2月(魚のおろし方)</td> </tr> <tr> <td>9月(海辺のいきもの)</td> <td>3月(ワカメ養殖)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">合計 142組 349人</td> </tr> </table> <p>e 海と漁業に関する体験学習</p> <p>小中学校・子供会等の団体に対し、海と漁業への理解を深めてもらうため、体験学習を行った。</p> <p>カキ打ち体験等 12回 599人</p> <p>f 水産知識の情報提供</p> <p>インターネット等を活用し、水産業及び水産生物資源に関する情報提供を随時行った。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>(a) ホームページアクセス件数</td> <td>39,988件</td> </tr> <tr> <td>(b) 来訪</td> <td>38件</td> </tr> <tr> <td>(c) 電話等</td> <td>153件</td> </tr> <tr> <td>(d) メールマガジン発行</td> <td>12回</td> </tr> </table>	4月(育てる漁業)	10月(魚の年齢)	5月(チリメンモンスター)	11月(刺し網等)	6月(シジミ漁業)	12月(カキ養殖)	7月(海の珍味を食べよう)	1月(カキ養殖)	8月(プランクトン)	2月(魚のおろし方)	9月(海辺のいきもの)	3月(ワカメ養殖)	合計 142組 349人		(a) ホームページアクセス件数	39,988件	(b) 来訪	38件	(c) 電話等	153件	(d) メールマガジン発行	12回	-
4月(育てる漁業)	10月(魚の年齢)																							
5月(チリメンモンスター)	11月(刺し網等)																							
6月(シジミ漁業)	12月(カキ養殖)																							
7月(海の珍味を食べよう)	1月(カキ養殖)																							
8月(プランクトン)	2月(魚のおろし方)																							
9月(海辺のいきもの)	3月(ワカメ養殖)																							
合計 142組 349人																								
(a) ホームページアクセス件数	39,988件																							
(b) 来訪	38件																							
(c) 電話等	153件																							
(d) メールマガジン発行	12回																							

区 分	事 業 内 容 等	決 算 額			
栽培漁業の推進	水産動植物の種苗生産 7種類の動植物種苗を生産し、広島市に引き渡した。	千円 8,718			
	種 類		生産計画	生産結果	大きさ等
	ア ユ		110万尾	110.9万尾	0.5g以上
	マコガレイ		10万尾	13.5万尾	30mm以上
	ス ズ キ		3万尾	3.3万尾	30mm以上
	オニオコゼ		3万尾	3.3万尾	40mm以上
	ガ ザ ミ		20万尾	20.4万尾	稚ガニ 3令以上
	モクズガニ		40.2万尾	47.2万尾	稚ガニ 1令以上
ワ カ メ	種糸 7,000m	種糸 7,000m	幼芽3mm以上		
種苗生産技術開発試験	シングルシードカキ（一粒殻付カキ）の種苗生産 平成21年度から開始した親貝養成技術、人工採苗技術及び種苗育成管理技術の技術開発試験を継続して行った。 生産数量 25mm以上の種苗12,000個	千円 978			
漁業技術の普及指導等	水産動植物の増殖・養殖技術の試験研究及びその成果の普及指導を行った。	千円 1,260			
	a カキ養殖に関する指導 (a) カキ採苗調査 良質なカキの生産に必要な種苗を確保するため、カキ採苗についての調査を実施した。				
	区分		調査期間	調査地点	調査回数
	幼生調査		6月21日～8月31日	17地点	37回
	種見調査		6月28日～8月31日	17地点	44回
	(b) 害敵生物調査 養殖中のカキの成育不良等の原因となるムラサキイガイ等について調査を実施した。 ・ムラサキイガイ				
区分	調査期間	調査地点	調査回数		
幼生調査	4月2日～5月31日 1月11日～3月28日	10地点	40回		
付着調査	4月1日～5月31日 2月22日～3月31日	11地点	27回		

区 分	事 業 内 容 等			決算額	
漁業技術の普及 指導等	・稚ガキ			—	
	区分	調査期間	調査地点		調査回数
	付着調査	8月30日～11月1日	4地点		8回
	・アカフジツボ				
	区分	調査期間	調査地点		調査回数
	付着調査	7月23日～11月26日	4地点		4回
	(c) 養殖指導				
	カキ養殖業者に対し、カキ採苗調査・害敵生物調査結果等をもとに養殖指導を行った。				
	指導件数	1, 0 5 4 件 (うち来場・現場指導 7 9 0 件)			
	(d) その他				
	各地区のカキ成育状況等の調査結果をもとに養殖指導を行った。				
	区 分	回数等			
	出荷サイズ調査	7 8 件 (4月、5月、10月～3月)			
	b 広島ブランドカキ開発				
	シングルシードカキ（一粒殻付カキ）種苗を用い、省力化を目指した養殖手法の開発を行うとともに、カキ養殖業者に対し技術の普及・促進を図った。				
環境調査	2 9 回				
カキ測定	8 回				
漁業者研修会	5 回				
ブランドカキPR	2 回				
c ノリ・ワカメ養殖に関する指導					
ノリ・ワカメの養殖時期に、養殖海域の環境調査及び生育状況を調査し、養殖の技術指導を行った。					
指導件数 2 9 0 件					
d 魚介類に関する指導					
操業海域の環境調査結果等を活用して、漁労漁業者等の指導を行った。					
指導件数 7 6 3 件					

区 分	事 業 内 容 等	決算額																																				
漁業技術の普及 指導等	<p>e 漁場環境の調査</p> <p>(a) カキ漁場環境調査 広島湾北部海域及び大黒神島海域において、カキ養殖に大きな影響を及ぼす水温やプランクトン等の調査を行った。</p> <table border="1" data-bbox="544 398 1284 584"> <tr> <td>調査地点数</td> <td>8 地点</td> </tr> <tr> <td>調査回数</td> <td>1 1 3 回 (4月～3月)</td> </tr> <tr> <td>調査内容</td> <td>水温、塩分濃度、透明度、プランクトン沈殿量</td> </tr> </table> <p>(b) 広島湾底質調査 広島湾北部海域の底質の状態を把握するため、硫化物量などの調査を行った。</p> <table border="1" data-bbox="544 734 1284 875"> <tr> <td>調査地点数</td> <td>3 地点</td> </tr> <tr> <td>調査回数</td> <td>2 回 (9月、2月)</td> </tr> <tr> <td>調査内容</td> <td>泥色、泥温、全硫化物量、含水率</td> </tr> </table> <p>(c) ヤマトシジミ漁場環境、生息調査 太田川において、ヤマトシジミの生息に大きな影響を及ぼす水温、塩分及び生息調査を行った。</p> <table border="1" data-bbox="544 1070 1284 1211"> <tr> <td>調査地点数</td> <td>6 地点</td> </tr> <tr> <td>調査回数</td> <td>4 回 (5月、8月、10月、1月)</td> </tr> <tr> <td>調査内容</td> <td>水温、塩分濃度、生息状況</td> </tr> </table> <p>f 漁場環境の変化への対応 広島市や関係漁協と協働し、丹那船溜（南区）の水質及び底質の調査を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="544 1346 1284 1532"> <tr> <td>調査地点数</td> <td>4 地点</td> </tr> <tr> <td>調査回数</td> <td>4 回 (6月、8月、9月、10月)</td> </tr> <tr> <td>調査内容</td> <td>水質：水温、塩分濃度、溶存酸素量 底質：全硫化物量</td> </tr> </table> <p>g 情報の提供 カキ採苗調査や漁場環境調査結果等をもとに情報紙を作成し、ファクシミリ、電子メール等により漁業団体等に提供した。</p> <table border="1" data-bbox="571 1727 1257 2007"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>提供件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カキ養殖情報</td> <td>1 6 1 件</td> </tr> <tr> <td>ノリ・ワカメ養殖情報</td> <td>4 件</td> </tr> <tr> <td>真珠養殖情報</td> <td>1 1 件</td> </tr> <tr> <td>海況情報</td> <td>1 9 件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1 9 5 件</td> </tr> </tbody> </table>	調査地点数	8 地点	調査回数	1 1 3 回 (4月～3月)	調査内容	水温、塩分濃度、透明度、プランクトン沈殿量	調査地点数	3 地点	調査回数	2 回 (9月、2月)	調査内容	泥色、泥温、全硫化物量、含水率	調査地点数	6 地点	調査回数	4 回 (5月、8月、10月、1月)	調査内容	水温、塩分濃度、生息状況	調査地点数	4 地点	調査回数	4 回 (6月、8月、9月、10月)	調査内容	水質：水温、塩分濃度、溶存酸素量 底質：全硫化物量	区分	提供件数	カキ養殖情報	1 6 1 件	ノリ・ワカメ養殖情報	4 件	真珠養殖情報	1 1 件	海況情報	1 9 件	計	1 9 5 件	—
調査地点数	8 地点																																					
調査回数	1 1 3 回 (4月～3月)																																					
調査内容	水温、塩分濃度、透明度、プランクトン沈殿量																																					
調査地点数	3 地点																																					
調査回数	2 回 (9月、2月)																																					
調査内容	泥色、泥温、全硫化物量、含水率																																					
調査地点数	6 地点																																					
調査回数	4 回 (5月、8月、10月、1月)																																					
調査内容	水温、塩分濃度、生息状況																																					
調査地点数	4 地点																																					
調査回数	4 回 (6月、8月、9月、10月)																																					
調査内容	水質：水温、塩分濃度、溶存酸素量 底質：全硫化物量																																					
区分	提供件数																																					
カキ養殖情報	1 6 1 件																																					
ノリ・ワカメ養殖情報	4 件																																					
真珠養殖情報	1 1 件																																					
海況情報	1 9 件																																					
計	1 9 5 件																																					

区 分	事 業 内 容 等	決算額																																
水産資源に関する調査	<p>漁業実態調査及び資源調査を行った。</p> <p>a 操業日誌によるナマコ等の漁場別漁獲量調査 広島湾におけるナマコ等の水産資源の基礎資料とするため、漁場別漁獲量の調査を行った。</p> <table border="1" data-bbox="587 353 1278 454"> <tr> <td>時期</td> <td>11月1日～3月31日</td> </tr> <tr> <td>対象者</td> <td>漁労漁業者2人</td> </tr> </table> <p>b アサリの漁場別生息・成育調査 広島市海域のアサリの漁場別生息・成育状況を把握するとともに、種苗放流の参考資料とするため、調査を行った。</p> <table border="1" data-bbox="587 645 1278 745"> <tr> <td>時期</td> <td>4月14・27・28・30日</td> </tr> <tr> <td>調査地点数</td> <td>7地点</td> </tr> </table> <p>c 聞き取りによる魚介類の漁獲実態調査 漁労漁業者から、漁獲状況等について随時聞き取りを行った。</p> <table border="1" data-bbox="587 891 1278 992"> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>調査回数</td> <td>40回</td> </tr> </table>	時期	11月1日～3月31日	対象者	漁労漁業者2人	時期	4月14・27・28・30日	調査地点数	7地点	時期	通年	調査回数	40回	千円 89																				
時期	11月1日～3月31日																																	
対象者	漁労漁業者2人																																	
時期	4月14・27・28・30日																																	
調査地点数	7地点																																	
時期	通年																																	
調査回数	40回																																	
水産に関する資料、情報等の提供	<p>一般市民及び小・中学校等の団体に対し、水産業及び水産生物に関する知識の普及啓発を図るため、資料展示室と種苗生産施設の一部を公開し、案内及び説明を行った。</p> <table border="1" data-bbox="592 1294 1273 1944"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">団 体</td> <td>幼稚園・保育園</td> <td>397人</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>2,193人</td> </tr> <tr> <td>中学・高校・大学</td> <td>432人</td> </tr> <tr> <td>漁業関係</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>官公庁</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>海辺の教室</td> <td>349人</td> </tr> <tr> <td>外国人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1,000人</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>4,409人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">一 般</td> <td>水産まつり等</td> <td>17,200人</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3,986人</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>21,186人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>25,595人</td> </tr> </tbody> </table>	区分		人数	団 体	幼稚園・保育園	397人	小学校	2,193人	中学・高校・大学	432人	漁業関係	3人	官公庁	23人	海辺の教室	349人	外国人	12人	その他	1,000人	小計	4,409人	一 般	水産まつり等	17,200人	その他	3,986人	小計	21,186人	合 計		25,595人	千円 1,601
区分		人数																																
団 体	幼稚園・保育園	397人																																
	小学校	2,193人																																
	中学・高校・大学	432人																																
	漁業関係	3人																																
	官公庁	23人																																
	海辺の教室	349人																																
	外国人	12人																																
	その他	1,000人																																
	小計	4,409人																																
	一 般	水産まつり等	17,200人																															
その他		3,986人																																
小計		21,186人																																
合 計		25,595人																																

区 分	事 業 内 容 等	決算額	
水産物の地産地消 推進	水産物の地産地消を推進するため、漁業者等が実施する販売イベントの支援を行った。	千円 —	
	イベント名		販売品目等
	ひろしま朝市		カキ、シジミ、鮮魚等 45回
	ひろしまフードフェ スティバル		シジミ、タコ飯、カキフラ イ等 10月
	ひろしま男子駅伝		カキ 1月
	広島かきチャリテイ ーバザール		カキ 2月
	南の風EBAあそび		カキ、ワカメ 2月
	大河水産まつり		カキ、ノリ、鮮魚等 2月
	梅林春こい祭		カキ 3月
	広島県おさかな朝市		ワカメ、ノリ等 3月
施設等の維持管理	施設等を良好に保つため、保守点検、維持補修を実施した。 広島市水産振興センター 敷地面積 9,958㎡ 本館棟、ガザミ槽棟、飼育棟等 15棟 指導船（第八市水丸、なきり丸、つくね）	千円 30,584	

ウ 収益事業

2,822,241円

広島市市民菜園等の管理運営

次のとおり市民菜園等の管理を行った。

区 分	事 業 内 容 等	決算額
広島市市民菜園	農家が開園する市民菜園の管理運営を行った。 31菜園（2,316区画） a 入園事務 （入園者の募集・貸付契約事務） b 施設の維持管理（ポンプ修繕、除草等） c 巡回指導	千円 2,823
広島市市民体験 農園	農家が開園する市民体験農園の入園事務を行った。 勝木体験農園 共同体験エリア 30組 個人体験エリア 61区画 a 入園事務 （入園者の募集・貸付契約事務）	

(2) 無償使用貸借資産

事業を実施するに当たって、広島市から無償使用貸借している資産は次のとおりである。

ア 建物及び土地

(平成23年3月31日現在)

名 称	所 在 地	区分	現 在 高
広島市農業振興センター	広島市安佐北区深川八丁目30番12号	建物	事務室等 545.04㎡
広島市農業振興センター安佐分場	広島市安佐北区安佐町大字久地2411番地1	建物	事務室等 132.496㎡
広島市水産振興センター	広島市西区商工センター八丁目5番1号	建物	事務室等 171.60㎡

イ 物品

(平成23年3月31日現在)

区 分		現在高
車両	貨物車	5点
	乗用車	1点
	農耕作業用自動車	1点
船 舶		3点
合 計		10点

注：この表は、重要物品として、取得価額又は評価価額が100万円以上の物品を記載した。